

北学園グランドデザイン

めざす子どもの姿

- 自分のよさや可能性を信じ、夢や目標の実現に向かって粘り強く取り組むことができる子
- 人とのつながりを実感し、誰かのために貢献できる子
- 自分を大切にし、他の人のよさや違いを認めることができる子
- 知的好奇心をもち、素晴らしいものに素直に感動できる子

<北方町教育委員会の方針>
主体的でたくましい北方の子の育成

<北方学園の方針>
だれもが安心して学び合える学園

<学校教育目標>
自ら考え よりよく生きる

めざす学校像

- 自分の居場所があり、誰もが安心して学び合える学校
- だれもが「今日も学校に来てよかった」と思える学校
- 子ども・教職員・地域・保護者が繋がりが合い、共に歩む学校

教師の構え・徹すること

寄り添うとは・・・

- 場所につき、子どもにつき、共に活動し、その子の様子から、その子の心を理解しようとする。背景も含め、なぜそのような行為に至るのか等、自問自答しながら「子ども」を主語にして考え、誰一人取り残さず粘り強く支援をし続ける。
- 子どもの「よさ」に触れ、心から感動する。

9年間が連続した教科指導・9年間が連続した生徒指導（15年間の教育）

1部：1～4年生
基礎基本を確実に身に付ける

2部：5～7年生
思考力・表現力を伸ばす

3部：8・9年生
個性を伸ばす

幼保(認定こども園)・小の接続を円滑にし、9年間切れ目なく着実に力を伸ばす (系統的な指導・多様な異学年交流・リーダー学年の活躍の場)

<ICT教育・英語教育・特設教科「北方科」の推進、教科担任制の推進、9年間を見通したカリキュラム>

自立

「分かる」・「できる」を次につなげ、学び続ける

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- ★夢中になる授業（探究する授業）
- ★一人一人の学びを保障する授業
- ★児童生徒一人一人が問いを発する授業
 - ・小集団学習による協働的な学び→「分からない」「どうして」を聞き合い、学び合い、どの子も探究する
 - ・知的好奇心をそそる課題、発問
 - ・15年間カリキュラムを活用した、系統的で教科横断的な学習
- ICT機器を効果的に活用
 - ・個別最適化された学びの実現
 - ・探究的な学びの実現
- 9年間を見通した英語教育・英語活動の推進
 - ・英語に慣れ親しむ→理解し合う→伝え合う
 - ・英検I BAの実施

共生

一人一人の違いを認め合う

- 多様性を認め合う居場所づくり
- ★認め合い高め合う学級づくり
 - ・お互いを理解できる仲間関係
 - ・一人一人が輝く仲間関係
 - ・対話を通して問題解決（自治力）
- ★異学年交流の充実
 - ・ペア学年等の工夫した活動
- ★人権・道徳教育の推進
 - ・人は対等であるとい意識の醸成
 - ・考え議論する道徳の授業
 - ・いじめを考える日
 - ・人権を考える日
 - ・特別支援学級児童生徒との交流
 - ・ユニバーサルデザインと合理的配慮
- 認定こども園との連携
 - ・15年間カリキュラム
 - ・命を守る訓練
 - ・引き渡し訓練

創造

誰かのために貢献できる

- 自分たちで築き上げる児童生徒会活動
 - ・感動的な児童生徒会行事
 - ・異学年が協働する委員会活動
 - ・地道に役割を果たす常時活動
- 夢や目標を抱き、やるべきことを粘り強く取り組むキャリア教育
- 特設教科「北方科」の推進
 - ・地域の自然や人に触れる→よさを学ぶ→現状や歴史を知る→地域の将来を考える
- 誰かの役に立つ
 - ・ボランティアカードを活用した地域貢献
- 北学園と南学園の交流
 - ・部活動、北方科、キャリア教育等

<学びの多様な学校分教室・オンリー1>
・8、9年生を対象に各1クラス（各3名）
・社会的な自立支援（適応指導、学習指導、相談教育）

<カリキュラムマネジメント>
・教科等横断的な教育課程の編成
・地域と連携した授業の編成

<教職員集団>
・分かり合い、繋がりが合う職員
・組織で動く（報告・連絡・相談+確認、フェイストゥフェイスのコミュニケーション、指導観の統一）
・同僚性を抱き、主体的・対話的に学び合う（自己研鑽に努める）
・教育公務員としてのコンプライアンス意識、マナー遵守。

<地域・保護者との連携>
・学校運営協議会を核とした地域と共に歩む学校体制づくり（外部人材の積極的な活用等）
・関係諸機関との日常的な連携（PTA、北方コミュニティ学園協議会、自治会、民生・児童委員会、子相、警察等）
・学校からの情報発信（HP、デジタル学校だより等）

<働き方改革>
・「和」と「ゆとり」のある職員室
・子どもと向き合う時間を確保する勤務体制の工夫
・自治体主導の部活動地域移行クラブ北方学園クラブ
・ハラスメントの速やかな察知と解決

<危機管理意識の高揚>
・子どもの安全、安心を守り抜く（命と心→即時対応）
・常に居場所確認
・保健指導の徹底（感染症防止対策等）
・施設、設備の安全管理（日常的に）